



KUMAMOTO GREEN

The Weekly Bulletin

Rotary-Club



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度
テーマ

- 国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」
- 地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」
- 熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」

R.I. 会長 K.R. “ラビ”ラビンドラン
 R.I. 2720 地区 ガバナー 野田 三郎
 熊本グリーンR.C. 会長 大友利行

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
 TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2016年2月1日】

第1204回
 2015-2016年度 第24回
 【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓



「君が代」
 「友と語ろう」(熊本グリーンRCの歌)

来訪者紹介 (大友 利行 会長)

- ・卓話者: 元熊本グリーンRAC 吉田美樹 氏
- ・元熊本グリーンRAC会員 古賀泰代さん

友情の握手

会長スピーチ (大友 利行 会長)

2月は如月(きさらぎ)衣更着(いこうい)と書いてさらに着物を重ねて着るの意と解されました。2月3日は節分、季節の分れ目、立春、立夏、立秋、立冬とありますが、なぜか立春だけを節分というようになり、現在は立春前後を節分としています。

豆まきは、追儺と呼ばれる宮中の行事が民間でも行われるようになったとされます。追儺は「鬼やらい」といい、疫病の鬼を追い払う行事が中国で行われていたものが日本に伝わったものです。何故豆をまくか？これも日本人特有の語呂合せで、魔目、又は魔滅に通じるので豆で鬼の目をつぶし魔を滅するとの説があります。

幹事報告 (荒木 一之 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①2016～2017年度 「地区研修・協議会」のご案内

日時：平成28年4月10日(日)

場所：ホルトホール大分

出席義務者：次年度地区委員、次年度会長、幹事、クラブ管理運営委員長、クラブ広報委員長、会員増強委員長、奉仕プロジェクト委員長、社会・国際奉仕担当長、青少年奉仕委員長、ロータリー財団委員長、米山担当長

■ 例会変更

<変更>

【熊本北RC】

2月18日(木)の例会は、親睦例会のため、同日18:30より旬彩「福わ家(ふくわうち)」にて行います。

卓話
予定

2/8 「第4回クラブ協議会」～今年度前半の委員会活動報告と後期実施計画～

2/17 会員増強クラブフォーラム

(河島一夫会員増強委員長の基調卓話後、全会員でフォーラム)

2/24 「世界で活躍するロータリアン」～世界で活躍するロータリー紹介(DVD鑑賞)～

2/28 「日本で作られた世界地図」河島一夫 会員卓話

【熊本グリーンR.C.ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

慶 事

田中 純司クラブ管理運営委員
(親睦担当長)



Happy Birthday, dear fellows!

★ 2月誕生祝 ★

伊津野 良治 君	S11.2.17
仙波 洋八 君	S13.2.4
松村 秀逸 君	S29.2.2
河島 美智奈 夫人	S27.2.22

出席 報 告

(中島 三千代 会)

会 員 総 数		22名	出席率
2月1日	出席免除会員数	1名	52.38%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	11名	
1月18日	前回の出席会員数	9名	50.00%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	10名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
1/18 熊本城東RC 河島 会員			

その他の報告

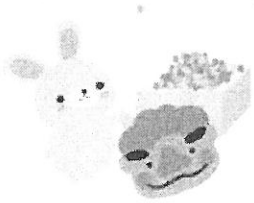
元熊本グリーンロータリーアクト会員
古賀泰代さん近況報告



スマイル

(山下 佳介 会員)

- 大友 利行 君、荒木 一之 君
「久しぶりの例会で懐かしい感じがします。東京のデパートで出店していました。再会にスマイルします。(荒木)」
- 古賀 泰代 君
「久しぶりにおじゃまします。皆様のお声を聞くと嬉しいです。まだ寒さの厳しい日々が続きます。お体ご自愛下さいませ。」
- 中島三千代 君
「先週はお休みしてしまいました。今日から2月、また心を入れ替えて出席します。今日はロータリーアクト卒業生の方々を迎えるの例会にスマイルします。」
- 田中 純司 君
「ロータリーアクトOGの吉田 吉田様、本日の卓話よろしくお祈いします。同じくOGの古賀様のご来訪の歓迎のスマイルです。」
- 河島 一夫 君
①「今日の卓話、絵本の話のようですが、私の店で扱っている子供むけの童話を買って読まれる方は大人の方が多いです。私も知らない童話や昔話等読む事があります。大変おもしろいものも多いです。」
②「家内の誕生祝いを頂きましてありがとうございます。うございます。」
- 栗山 義則 君、十時義七郎 君
「古賀さん、吉田さんの久々の来訪にスマイルします。いつでもまた来て下さいね。」



3. 例会プログラム

紹介者: 山下 佳介

卓話者: 元熊本グリーンローターアクト 吉田 美樹 氏

「大人に伝えたい絵本の魅力」

ご紹介した絵本

いもとようこ作「かぜのでんわ」

いとうひろし作「だいじょうぶ だいじょうぶ」



これらの絵本のように、心が揺さぶられる本との出会いを、お手伝いしていきたくと思っています。

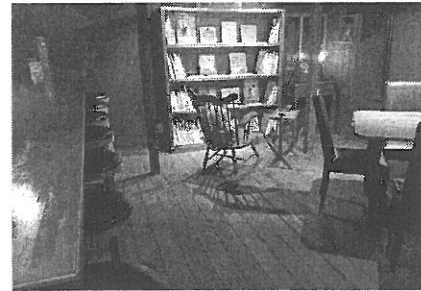
今度2月9日(火)島崎に絵本とウィスキーのお店
「島崎さぶろう書店」をオープンします。

住 所: 熊本市西区島崎5-3-15

定休日: 月曜日

営業時間: お昼 11時から14時(ラストオーダー)

夜 18時から23時



4. 閉会・点鐘

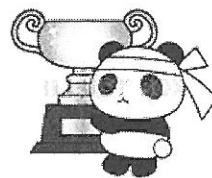
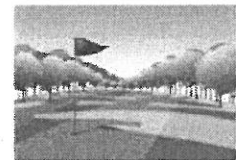
第5回 新春親睦ゴルフ会 スコア

日時 2016年1月2日(土)

城南カントリークラブ スタート時9時17分スタート

名前	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	順位	新HD
上田 観一	63	57	120	29	91	3	
江上 泰弘	66	57	123	29	94	5	
白石 正英	58	59	117	22	95	6	
中島三千代	57	57	114	23	91	2	
田中 純司	53	63	116	23	93	4	
長野 義文	42	41	83	0	83	優勝	
長野 義	39	40	79				

ニアピンOUT	No4	長野 義文	No7	長野 義文
ニアピンIN	No12	なし	No17	田中 純司
ドラコンOUT	NO	長野 義		
ドラコンIN	NO	中島三千代		



古賀泰代 私の近況報告とこれからのJCI



古賀泰代、JCIアジア太平洋担当エリアマネージャー

*国際青年会議所 (JCI, Junior Chamber International)

1915年、アメリカミズーリ州セントルイスにて、ヘンリー・ギッセンバイヤー・ジュニアの手により、青年市民がより良い青年市民となり、地域社会に貢献し、恒久的世界平和を達成せんという願いと共に、最初の地域会員会議所を立ち上げました。1944年に7か国が参加して第1回の世界会議がメキシコにて開催され、国際組織となり、現在では約110ヶ国の国、約5,000の地域で、18から40までの青年たちが地域のニーズに基づいたプロジェクトや事業を行っています。

JCIミッション

より良い変化をもたらす力を青年に与えるために
発展・成長の機会を提供すること

JCIビジョン

若き能動的市民の主導的なグローバル・ネットワークになること

JCI本部の職員としての私の主な仕事は、アジア太平洋22ヶ国の運営支援、新規加盟を目指す国々の青年たちの加盟前後の支援、JCI4つのエリア中常に最大の参加者数を誇る、アジア太平洋エリア会議の運営や支援、その他日本国内、海外で行われるJCI公式諸会議の設営運営、日本語-英語の資料作成補助など、多岐に渡ります。

今年のJCIは、最近世界各地で多発するテロ行為、難民問題などを念頭においた、Peace is Possible (平和の実現)という運動を一つの軸として展開していきます。これは、ロータリーも平和奨学生のプログラムを強化するなど、組織を問わず、様々な人々や団体が、同じ方向性で平和の実現に向けた個人レベルの意識改革や組織的な運動を行っています。

さらに、これまで重点的に取り組んできた、これさえしっかり改善すれば世界の人々は平均的により幸せになれるとうたわれた国連ミレニアム開発目標。2015年で7つの目標達成の期限を迎え、新しく2015年9月の国連総会が採択した持続可能な開発のための2030アジェンダに引き続き取り組んでいきます。その中には一連の持続可能な開発目標(SDG)、通称「グローバル・ゴール」が含まれています。わたしたちJCIは、その中でも、「水と衛生環境」に重点的に取り組んでいくことを、組織誕生100周年を祝った金沢での2015年JCI世界会議にて採択された「金沢宣言」の中で誓いました。他の友好団体と手を組み、より多くの青年達を巻き込んで、自分たちの手で地域や国を変えていきます。4月には、アジア太平洋のJCIの各国代表が金沢の地に再び相集い、このグローバル・ゴールの勉強や、具体的な問題と解決策などについて議論を重ねます。

グローバル・ゴールズは、ミレニアム開発目標(MDGs)、すなわち、2015年までに世界が達成を約束した8つの貧困対策目標を土台としています。MDGsで見られた大きな前進は、目標やターゲットが実証した共通目標の意義を示しています。しかし、MDGsの成果にもかかわらず、すべての人が貧困という尊厳が傷つけられる事態を脱するまでには至っていません。

グローバル・ゴールズは、MDGsで積み残された目標を達成し、誰も置き去りにしないことを確実にするものです。

SDGsの目標17項目はいずれも、持続可能な開発、民主的なガバナンスと平和構築、気候変動と災害に対する強靱性という、UNDPの戦略計画の重点分野と結び付いています。貧困に関する目標1、不平等に関する目標10、ガバナンスに関する目標16は特に、UNDPの現在の活動と長期的な計画にとって中心的な意味を持っています。

しかし、SDGsを達成するためには、複数の目標にまたがって進捗を支援する包括的なアプローチが欠かせません。UNDPはこのプロセスを支援できる独特な立場にいます。

(UNDPより一部抜粋)

